OUR SPORTS 東京
新日本スポーツ連盟東京都連盟機関紙

〒170-0013 豊島区東池袋2-39-2 大住ビル401
TEL: 03-3981-1345　FAX: 03-3981-8315
E-mail　njsf@tokyo.email.ne.jp
URL　http://www.t-njsf.net/tokyo/
1-2月号　2012年2月22日
発行責任者：萩原 純一

深めよう絆！　スポーツは生きる力

第29回全国スポーツ祭典の年

2010 年全国スポーツ祭典
陸上競技大会・年齢別水泳
大会より

新年からダッシュの各種目組織、地域組織のみなさん

今年は、標題の通り「第29回全国スポーツ祭典」が全国各地に会場を広げて開催されます。東京が主会場となる陸上競技大会は 11 月 11 日（日）国立霞ヶ丘競技場での開催が決まり、東京辰巳国際水泳場では、11 月3日（日）に全国年齢別水泳大会が開催されます。今年は、全国スポーツ祭典を成功させることと東北復興支援の輪を広げる運動を連動させて取り組むことに特徴があります。全国スポーツ祭典の成功に向けて、みなさんの力を束ねていきましょう。

東北6県から選手やチームの出場費を支援するために、祭典記念グッズ「消せるボールペン」を都連盟に加盟するすべての組織に広げて、10000 本の販売すれば、100 万円が東北6県から出場する選手やチームの参加費に充当されます。各種目の予選大会や各種の事業の中で是非取り組んでいただくことをまずはじめにお願い致します。

さて、昨年8月に施行された「スポーツ基本法」は、スポーツの基本理念として「スポーツを通して幸福な生活を営むことは全ての人々の権利」を明確に謳いました。同時に、日本体育協会も創立 100 周年の年に「スポーツ宣言日本」を発表し、その中で「スポーツをする権利」を基本理念としました。新日本スポーツ連盟が 47 年前に創立宣言に掲げた「スポーツ権」が、やっと日本のスポーツの基本理念となったのです。

これからは「国や自治体の責務」が問われることになりますが、果たして、国や自治体は責務として国民スポーツを推進するかどうかは、全く保障の限りではありません。

これからも、国民が都民がスポーツ愛好者が力をあわせ、粘り強く「私たちの要求」を国や自治体にぶつけて、「スポーツ権」「国や自治体の責務」「スポーツ団体の努力」「連携と協働」などのキーワードをもとに、固い扉をこじ開ける作業が必要となるでしょう。

都連盟の組織は、加盟員 11000 人を超えています。2万人の高い峰を目指して今年も大きな活動を展開したいと思います。

7月 28 日（土）の「第 17 回反核平和マラソン」、11 月 23 日（祝）の「第2回ゆりかもめリレーマラソン」は、今年も東京都連盟の全組織の協力体制で取り組みますので、よろしくお願いします。

3月からは、東京都連盟に新しい専従職員を迎えます。宮内泰明さんと細野道秋さんです。東京都連盟の活動を支える縁の下の力持ちになるように大いに期待して下さい。

（東京都連盟理事長　萩原純一）

スポーツ連盟が東京都スポーツ振興局に要望書を提出

スポーツ基本法に基づいた政策を！

2012.2.1　提出に出席した人…萩原・北川・宮久保・鈴木・板垣・穴原・佐藤

2012年2月1日、新日本スポーツ連盟東京都連盟は2012年度の東京都スポーツ振興事業に関する要望書を東京都スポーツ振興局へ提出しました。以下、東京都スポーツ振興局との議論の要約です。

萩原（東京都連盟理事長）：昨年施行されたスポーツ基本法のなかで「スポーツ権」が謳われたことは日本のスポーツ界にとって大きなものだと思います。是非、今のスポーツ振興基本計画を見直し、基本法にもとづいた推進計画を立ててもらいたいということで要望書を提出します。以下の点について、スポーツ振興局の考えをお聞きします。

〇スポーツ施設の不足について

現在、都民が手軽に利用できる施設が身近にある環境になっていません。人口比に対するスポーツ施設数が全国ワースト１位という現実を打開しようという考えはありますか。

〇スポーツ団体への支援について

地域スポーツ振興政策として、総合型地域スポーツクラブ(都内93クラブ)を支援する方針を続けているが、それ以外の自主的なスポーツクラブ（都内47000クラブ)は活動支援の対象にはならないのですか。

〇事業補助金の基準について

東京都はかつて、東京スポーツ祭典（新日本スポーツ連盟東京都連盟・東京都共催）に補助金を出していたが、2004年にカットされてしまいました。

前回招致失敗の教訓は…？

スポーツ団体の事業への補助金の基準は明確にされているのでしょうか。

〇オリンピック招致について

都民の意向を計らずに、都知事の先導で招致が進められています。大型都市開発計画を推進するためのオリンピック招致になってはいませんか。都民のスポーツや教育、福祉、防災など安心な都政を充実させること、また都民の大多数がオリンピック招致に賛意を示すことができる環境作りに力を入れるべきです。

〇辰巳国際水泳場の運用について

昨年指定管理者となった東京都水泳協会が優先されたスケジュール化が行われ、会場利用が公平に運用されない事態が起こりました。二度と起こらないように厳重な対応をしてほしいです。

〇辰巳国際水泳場の減免について

大会前日の準備作業は使用料全額を払うことになっていますが、減免措置の対象になるようにもう一度検討してください。

〇東京体育館の照明料金について

大会が早く終了し、利用終了時間よりも早めに照明を落としても照明料金がかかることになっています。使用しなかった時間の照明料金については還付できるよう検討してください。

沢村（スポーツ振興局）：

〇振興計画について

今後、国のスポーツ基本計画に応じて必要があれば措置を講じていきます。

〇スポーツ施設について

施設が重要だということは認識しています。ただし、統計によると「スポーツをどこでしていますか」の回答の第１位は「道路・公園」という結果も出ています。東京都としては、国際大会が開催できる全都的かつ広域的な施設の整備を進める方針です。

〇スポーツ団体への支援について

総合型地域スポーツクラブを支援する方針となっています。自主的に活動しているクラブに対する助成は謳っていません。

山中（スポーツ振興局）：「事業の後援名義」や「施設使用料の減免措置」を間接的な補助として考えたいと思っています。

沢村：国の審議会では「総合型地域スポーツクラブだけでは（地域スポーツの振興は）限界があるのでは」という意見もありました。

辰巳国際水泳場の公平な運用を！

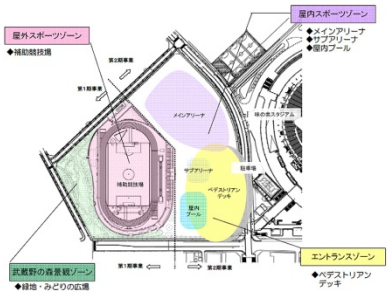
萩原：例えば、都内に47000ある自主的なクラブも、施設使用料を減免することもできるでしょう。「道路・公園」がスポーツの場になっているのは、施設が少ないからウォーキング・ジョギングなど一人で気軽にやれるスポーツに偏ってしまう風潮の現れでは？

宮久保（東京水泳協議会）：東京都は、各市区町村に対して、すべてのクラブが公平に施設を利用できるように指導をしてほしいです。

北川（東京卓球協議会）：都民が優先的に利用できる都立スポーツ施設はないですよね。東京体育館の年間予定は、全日本レベルの大会で埋まっています。そういう大規模な事業を行なうための施設は、本来国がやることではないんですか。都民の日常的なスポーツのための振興計画はあるんですか。

山中：国・都・市区町村それぞれ役割がありますが、我々は都としてのスタンスを考えて振興計画を立てているわけです。

萩原：区立施設は、まったく足りていません。クラブが利用しようとしても抽選がなかなか当たらない状況です。東京都は、大型イベントなど集客力があるものにはお金を出すが、クラブのスポーツ活動のためにはお金を出さない、そういう性格があるのではないですか？



施設整備計画は今のところ「武蔵野の森」だけ

北川（東京卓球協議会）：地方自治体が大規模なスポーツ施設を作る場合、以前は国から補助が出たのでは？

沢村：国体のために作られる会場には補助がありました。

宮久保：全都的広域的施設の整備のひとつとして、武蔵野の森総合スポーツ施設の計画があると思うのですが、その後は何か計画があるのですか。東京都水泳協会の件は、指定管理者に入ったときから危惧していたことですが、厳重に注意していただきたい。

山中：辰巳国際水泳場の利用については、基本的に国際大会や全都的行事を優先しています。優先順位は指定管理者が総合的に見て決定していますが、今後指定管理者と確認をとっていきたいと思います。

沢村：

○施設使用料の減免措置について

指定管理者の管理基準で、現在は「当日のみ」となっています。

○照明料金について

条例により、照明は施設の「付属設備」と定められているので、照明料金は施設利用時間に基づいています。使用しなかった時間の料金を還付するのは、今のところ考えておりません。

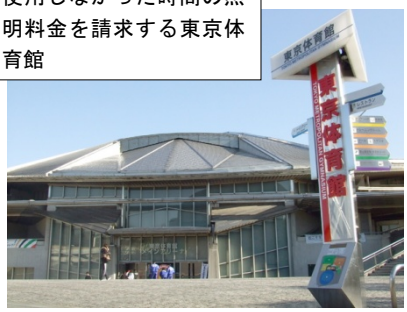
萩原：小田原アリーナは、館の職員から「早く照明を消したほうがお得ですよ」と言ってくれました。条例を変えれば、そういうふうにできるのではないですか。

宮久保：同じように指定管理の基準を変えれば、減免措置もできることですよね。

北川：他の県では、使用しなかった照明料金の還付をしています。是非条例を変えてほしい。

宮久保：大きい大会を優先するだけでなく、市民の大会のことも考えてほしいです。都内には 50m 温水プールが数えるほどしかありません。本当に施設が足りないということを認識してほしいです。

使用しなかった時間の照明料金を請求する東京体育館



萩原：東京都には「指導的な役割」を期待しています。「どのくらい施設が必要か」というバロメーターを明示し、「必要によっては区市町村に援助する」という姿勢を見せてほしいです。「東京都のスポーツ行政、変わったなぁ」と言われるような計画を作ってください。

北川：老朽化している駒沢屋内球技場の改築はどうなっていますか？

梅村（スポーツ振興局）：東京国体（2013 年）の後に改築します。テニスコートは国体で使用できるように改修する予定です。

鈴木（東京水泳協議会）：辰巳国際水泳場の大会関係者室が、東京都水泳協会の物置状態になっています。施設を利用するにあたって、各団体がフェアに使おうという姿勢がまったく見られません。一度あの部屋を見に行ってください。

萩原：是非とも都民のスポーツを発展させるという立場で検討してもらいたいと思います。

東京都連盟 評議員会報告

2012 年 1 月 28 日（土）東部区民事務所　出席：23 名

1 月 28 日、東部区民事務所にて第 44 期第 1 回評議員会が行われました。11 人の評議員（定数 18）と 12 人の理事（総数 16）が出席し、2011 年の活動報告と今後の重点課題について話し合いました。

評議員からは「(改修工事などもあり）施設がなかなか確保できない」「施設使用料の値上げの問題で行政に要望書を提出した」「新職員の研修体制をしっかり整えてほしい」などの意見がありました。

最後は、萩原理事長が「運営を楽しみながらやるという気風、思いを伝えて人と人がつながる方法を考えることが大切。スポーツ施設の値上げなど、情報をタイムリーに発信できるように補強していきたい。新しい職員については、３カ月間は試用期間とし、６月から正規職員となる。よろしくお願いしたい」とまとめて、終了しました。

●最近の活動と今後の予定

1/10 理事会
1/18 東京ランニングクラブ運営委員会
1/21 東京水泳協常任委員会
1/28 評議員会
2/1 東京都スポーツ振興局へ要請行動
2/12 第 10 回多摩川ロードレース
2/13 江東区議会に「スポーツ施設使用料の値上げに反対する陳情署名」を提出
2/22 定例都議会回会日宣伝活動
2/25 東京サッカー協議会総会
3/4 水泳フェスティバル

東京都連盟スポーツカレンダー　2012 年 3～5 月

卓球

・中学・高校生大会／個人戦
3/29（木）4/3（火）駒沢体育館・東京体育館
・中学・高校生大会／団体戦
3/31（土）東京体育館
・男子年齢別卓球大会
4/8（日）東砂スポーツセンター
・関東オープンレディース
3 ダブルス卓球大会
4/18（水）東京体育館
■板橋区
・ペアマッチ大会
3/3（土）上板橋体育館
■北区
・ABC=XYZ 団体戦卓球大会
3/3(土）桐ヶ丘体育館
■新宿区
・新宿カルテット大会
3/3(土）新宿スポーツセンター
■大田区
・のりのりプログレスリーグ
3/7(水)　大森スポーツセンター
■江戸川区
・オープンペアマッチ卓球大会
4/21(土）江戸川区スポーツセンター
■多摩地域
・多摩ジュニアシングルス
3/26（月）立川市　柴崎体育館

陸上

・春季陸上競技大会
4/7(土）駒沢公園陸上競技場
■北区
・ふれあい赤羽駅伝大会
4/15(日）荒川ランニングコース

テニス

・多摩春季テニス大会
4/8（日）小金井公園テニスコート
■北区
・ミックスダブルス大会
4/22　新河岸川庭球場
■練馬区
・春季テニス大会
4/7，4/8，4/15，4/22
土支田コート

バドミントン

・東京春季スポーツフェスティバル
4/14（土）駒沢公園屋内球技場
■中野区
・春季バドミントン大会
4/29(日）中野区立体育館
■新宿区
・第 27 回新宿春季大会
3/31(土)新宿スポーツセンター

ウォーキング

・筏道を行く
3/17(土）京王線府中駅 南改札口
9 時 45 分集合
・箱根路を歩く
4/15（日）小田急線急行乗り場
一番先頭 7 時 20 分

水泳

・水泳フェスティバル
3/4(日）東京辰巳国際水泳場
・辰巳水泳大会
5/6（日）東京辰巳国際水泳場

野球

・東京都野球リーグ
（中西部リーグ、南部リーグ）
第 1,3,5 日曜日戸田市グラウンド、多摩川河川敷ほか
・北区連盟リーグ戦
毎月第１,３,５日曜日
中央公園野球場、新荒川大橋野球場
・板橋野球リーグ　　毎週日曜日
戸田橋野球場、小豆沢野球場ほか

ソフトボール

・東京春季スポーツフェスティバル
ソフトボール大会
4/22（日）4/30（祝）
駒沢公園軟式野球場

バレーボール

■北区
・春季オープンバレーボール大会
4/1（日）滝野川体育館
（決勝　5/6　桐ヶ丘体育館）

スキー

・SNOW JAMBOREE 2012
3/17～18 志賀高原一の瀬スキー場

～ 編集後記 ～

今年は、寒い日が続いて梅の花も開花が遅れているそうですが、日差しは着実に春に向かっているようで、清々しさを感じます。

３月になると都連盟事務所に新しくさわやかな春風が吹きこみます。やがて、「スポーツがすべての人々の権利」の実現の確かな方向へ力強い風を吹かせてくことがみんなの願いとなっています。

（H）